

第2回 中等日本語教育授業教案コンテスト

教 案

使用教科書： 日本語（人民教育出版社）八年級 第 4 課（全 6 コマの内、本教案は 6 コマ目）

1 コマ 45 分

【要選択】（ 高校 ・ 中学 ） 2 年 クラスの人数 52 人

【要選択】 第一外国語 第二外国語 課外活動 その他（ ）

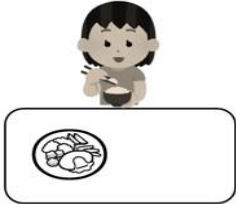
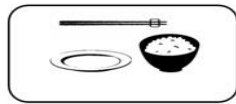
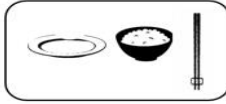
日本語学習歴 2 年

この授業の到達目標

1. 「小さな発見」という本文の内容が理解できる。
2. 「小さな発見」という本文の内容に出た場所と方位名詞と大体の文の意味を録音で聞き取れる。
3. 「小さな発見」を勉強して自分や他人の家のご飯の食べ方や食器の使い方が簡単に説明できる。
4. 日本人と中国人のご飯の食べ方と食器の使い方という文化の同異点分かる。

この授業の学習項目

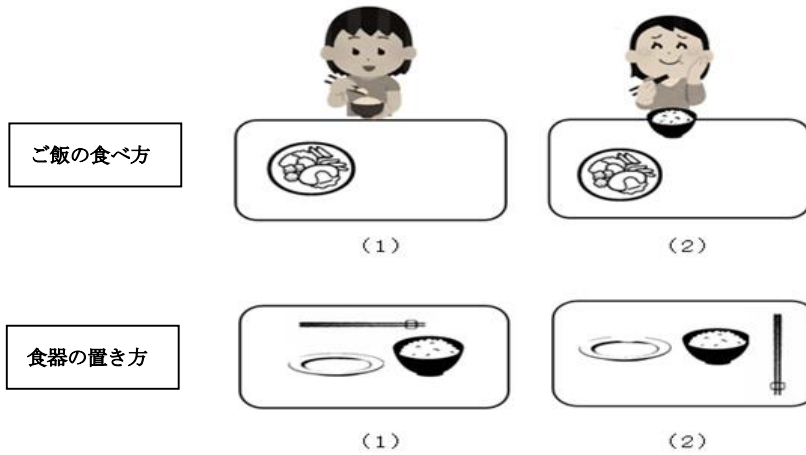
聴解授業の形で「小さな発見」という本文の内容を授業にする。

時間	段階 (授業の流れ)	練習・活動の内容（詳しく書いてください）	練習・活動の目的	注意点・ 使用するもの
3 分間	前作業Ⅰ (復習)	1. 生徒に日本語で前回の授業で習った「箸とスプーン」という会話文の内容を簡単にまとめてもらう。	次の予測と推測の段階の準備のため、この授業に出た本文の内容に関する背景知識を取らせる。	習った会話文なので、日本語でまとめて、答えてもらう。
2 分間	前作業Ⅱ (導入・予測)	 (1)  (2)  (1)  (2) 質問 1. 「みなさんは食事する時、茶碗を持って食べますか。」 質問 2. 予測：「日本人の美月さんの家は食事する時、ご飯の食べ方と食器の置き方はどれが合っているかと思っていますか。」	1. 質問 1 を通して、生徒に自分の日常生活を連想してもらい、授業への興味を引き付ける。 2. 質問 2 の予測をしてから、次の段階で録音を聞くと、聞くことが楽しくになり、録音を聞く時、目標を設定して重要な情報が選別できる。	絵をプリントに載せて、生徒に選んでもらう。

		先生から出された4つの絵から自分が予想したことに合っている絵をそれぞれ一つ選んでもらう。		
5 分間	本作業Ⅰ (録音を聞く)	一段落目 : 生徒に録音を聞かせて、内容をグループで討論してから簡単にまとめてもらう。	次の二、三段落目の内容を推測してもらう。	自分が聞いた内容をプリントにメモする。
10 分間	本作業Ⅱ (推測Ⅰ)	二段落目 : 1. 本文の内容の中の場所と方向に関する単語を穴埋めにして、自分で推測して単語を書いてもらう。 2. 1回目の録音を聞かせて、生徒は自分で穴埋め問題の答えを確認する。 穴埋め問題: 箸の_____も_____。うちでは箸を皿や茶碗の右側に置きます。置き方は_____です。でも、美月さんの家では皿や茶碗の_____に置きます。置き方は_____です。 3. 2回目の録音を聞かせて、4人グループで互いに答えをチェックする。 4. 前作業で予測して選んだ絵の正しさをもう一回確認してもらう。	1. 自分の経験や背景知識によって、本文の内容への理解を進める。 2. 選別した情報を聞き取れる能力を高める。 3. 場所と方向に関する教科書の単語を一層覚えさせる。 4. 協同学習能力の育成。	1. 穴埋め問題の答えをプリントに書いてもらう。 2. 先生は絵(前作業の予測)をPPTに載せて、生徒と一緒に正解を確認する。
8 分間	本作業Ⅲ (推測Ⅱ)	三段落目 : 1. 質問:「私」はこの今までの小さな発見をどう考えるかと思いますか。 2. 録音を聞かせて、生徒は聞いた内容をグループで共有して、上の質問の答えをまとめてから答える。	1. 協同学習能力の育成。 2. 推測力を養う。 3. 聞く情報が選別できる。	録音を聞く前に、生徒からの質問1の回答は、難しい表現なら中国でもよい。
	後作業	1. 生徒は本文の全体の内容を見ながら、	1. 自分が推測した	1. 足りない部分

15 分 間	(発表)	もう一回録音を聞く。上の段階の質問の答えを確認しながら、足りない部分は先生がもう一回補足する。 2. 活動： (1) 二人ペアで、自分の家が食事する時、ご飯の食べ方と食器の置き方を友達に紹介する。 (2) 友達の話聞きながら、友達の家のご飯の食べ方と食器の置き方についてプリントに絵を書いてもらう。 (3) 発表：自分が書いた絵を見ながら、友達の家のご飯の食べ方と食器の置き方をクラスメートに紹介する。	内容をもう一回確認して、本文の内容を理解してもらう。 2. 自分や他人の家のご飯の食べ方や食器の使い方が簡単に説明できる。 3. 日中のご飯の食べ方と食器の使い方という文化の同異点を気づかせる。	はすべて先生一人で補足することではなく、生徒を誘導してまとめてもらう。 2. 発表する時、声の大きさ、礼儀正しさ、挨拶といった注意点を強調する。
2 分間	まとめ 宿題	1. 前作業の予測に出た 4 つの絵をもう一回出して、先生から内容をまとめる。 2. 宿題：4 人グループで、日中の飲食文化の一つの視点（角度）を選んで、資料を探して、まとめて、次の授業で発表してもらう。	1. 勉強した内容をもう一回確認させる。 2. 日本と中国の飲食文化の同異点を比べてもらう。	宿題は P P T にまとめてもらう。
工夫点・アピールポイント 1. トップダウンモデル。 2. 予測と推測の部分を工夫して、生徒に聞き取りの目的を意識させ、学習意欲を高める。 3. 聞く・書く・読む・話すという 4 つの言語能力を鍛える。 4. 言語能力、学習能力、文化素養、思考能力という日本語学科の核心素養の育成を目指す。 5. ただの教科書の内容を訳したり、試験問題だけを書いてもらったりという詰め込み教育の教え方を改善してみたい。 6. チームワークの形で、生徒は授業の主体になり、協同学習をして自分で問題が解決できて、日本語が活用できる。				
研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。 2017 年「聴解授業のデザインと実施」という講座で、学んだ背景知識（前作業の復習部分）と予測・推測能力（（本作業の部分）と異文化の理解能力（宿題の部分）を工夫して、トップダウンモデルで聴解授業をデザインするということを活用してみたいと思う。そのほか、同講座で聴解授業にでも日本語学科の核心素養の育成を目指すということを取り入れた。				

1. 日本人の美月さんの家は食事する時、ご飯の食べ方と食器の置き方はどれが合っていると思いますか。



2. 録音を聞いて、一段落目の内容をまとめましょう。

録音に出た言葉をチェックしましょう。

ちゃわん も お はっけん ちが
茶 碗 持つ 置く 発 見 違 う

まとめ： _____

3. 録音を聞いて、穴を埋めてください。

箸の _____ も _____。うちでは箸を皿や茶碗の右側に置
 きます。置き方は _____ です。でも、美月さんの家では皿
 や茶碗の _____ に置きます。置き方は _____ です。

4. 「私」はこの今までの小さな発見をどう考えるかと思いますか。

録音に出た言葉をチェックしましょう。

まいにち しょっき ひ 食べ方 使い方 いろいろ
 毎 日 食 器 日

録音を聞く前

推測：1. _____
 2. _____
 3. _____

録音を聞いた後

まとめ： _____

5. 活動

(二人ペアで)

- ① 自分の家のご飯の食べ方と食器の置き方を友達に紹介してください。

〇〇さん、こんにちは。

これから私のご飯の食べ方と食器の使い方について紹介します。

私の家はご飯を食べる時、いつも茶碗を_____ご飯を食べます。

箸を_____に置きます。

〇〇さんの家のご飯の食べ方と食器の使い方はどうですか

- ② 友達の話聞きながら、友達の家のご飯の食べ方と食器の置き方について下に絵を書いてください。

*ここに絵を書こう。

- ③発表：自分が書いた絵を見ながら、友達の家のご飯の食べ方と食器の置き方をクラスメートに紹介してください。

みなさん、こんにちは。

これから私は〇〇さんの家のご飯の食べ方と食器の使い方について紹介します。

_____。

〇〇さんの家のご飯と食べ方と食器の置き方は私の家と**同じです/違います**。

6. 宿題

日本と中国のご飯の食べ方と食器の使い方は違います。日中の飲食文化について、他に何か違うかと皆さんが発見しましたか。

4人グループで、日中の飲食文化の一つの視点(角度)を選んで、資料を探してまとめて、PPTを作って次の授業で発表してください。